

# 浜松城の歴史

## 1 家康公、引間城から浜松城へ

永禄11年(1568)、家康公は三河(岡崎)から遠江(浜松)へ入り、今川領の制圧を開始した。武田信玄が駿府へ進出を図ると、家康公はその侵攻に備え、遠州一帯を見渡せる三方ヶ原の丘に着目。天下を取るためには武田を倒さなければと、家康公は元禄元年(1570)、岡崎城を長男の信康に任せ、本拠地を遠江の引間城に移す。西側の丘陵一帯へ城域を拡張して浜松城と名付け、城の整備と同時に家臣団を城下の各所に配置し、商工業者を集住させた。当時の浜松城は高い石垣や天守はなく土造りの城であった。



浜松城公園内に建てられている若き日の家康公銅像。

### 徳川家康在中のおもな出来事

- 1570年 姉川の戦い
- 1572年 三方ヶ原の合戦
- 1575年 長篠の戦い
- 1582年 本能寺の変
- 1584年 小牧・長久手の戦い

## 2 2代目城主堀尾吉晴、壮大な城へリニューアル

堀尾吉晴は尾張国の出身で、豊臣秀吉に仕えた三中将の一人。小田原の北条攻

めのもと浜松城主となり、現在見られる石垣や天守を築いた。さらに二侯城や鳥羽山城も改修し、家康公が築いた戦国の城を近世城郭へと大きく変貌させ、豊臣政権の天下を世に知らしめた。その後、出雲・隠岐国の国持大名へと出世し、松江城を築城する。その姿は浜松城と似ていたとみられ、浜松城の天守を参考にしたとも考えられている。



「松江開府の祖」として建てられた堀尾銅像。(島根県松江市)

### 堀尾吉晴在中のおもな出来事

- 1590年 小田原攻め
- 1600年 関ヶ原の戦い
- 1603年 徳川家康、征夷大将軍に任命され江戸に幕府を開く

## 3 6代目城主高力忠房、浜松城下町・宿場町を整備

高力忠房は遠州国浜松の生まれ。二代将軍徳川秀忠の信任が厚く、幕府からも信頼され、治政に長ける人物だった。約20年間の浜松在城期には、城下町の町割りや、宿場町としての機能、財政の整備を行い、町づくりを軌道に乗せた。寛永12年(1635)、参勤交代制の確立で、大名の往来が激しくなるにつれ、大名・公家

### 高力忠房在中のおもな出来事

- 1633年 鎖国令発令
- 1637年 島原の乱

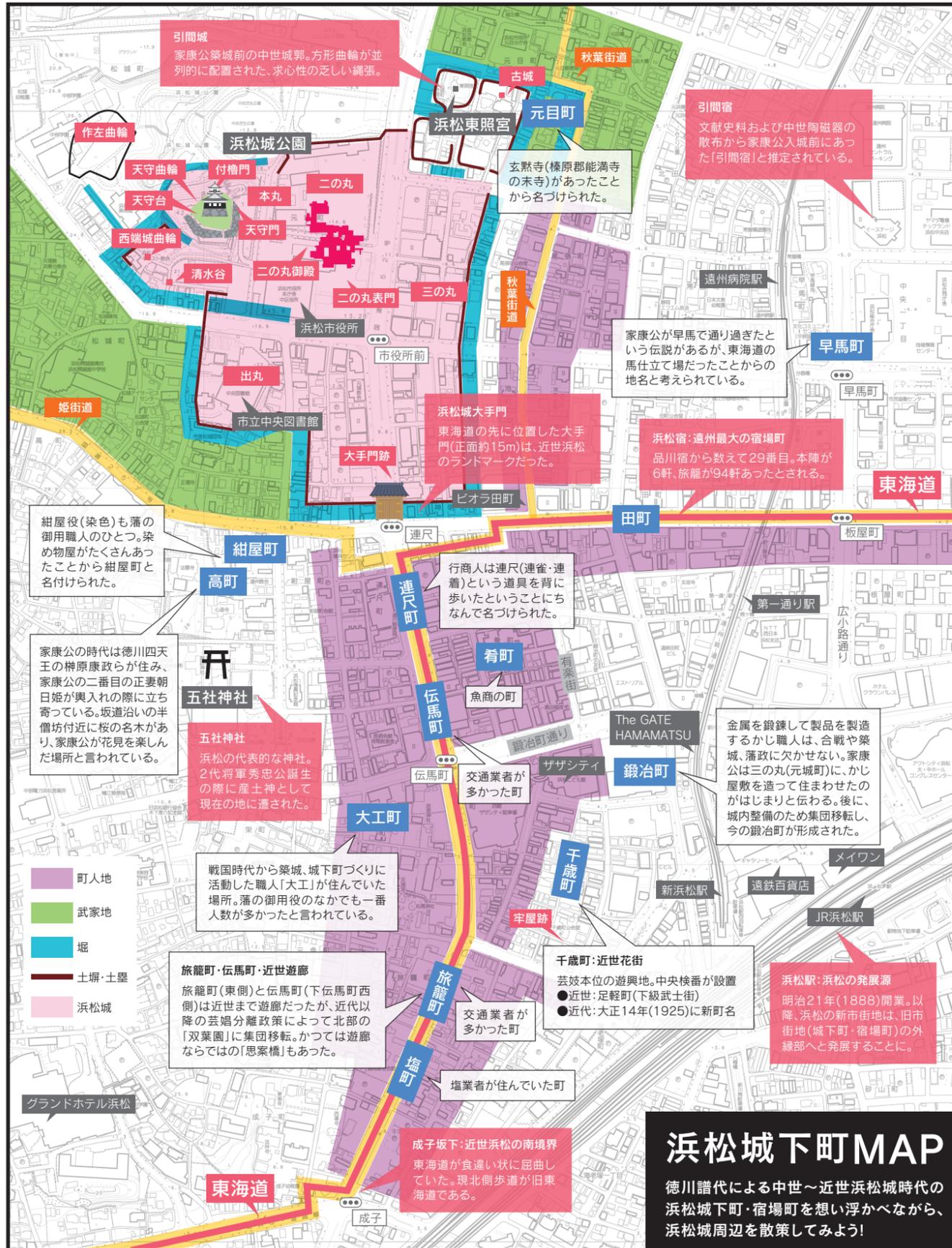
## 4 エリートコースを望む、歴代城主に守られ、今日の浜松へと発展

浜松城はおもに家康公ゆかりの譜代大名が城主となり、浜松藩政300年の間に25代もの城主が在任した。城主の多くが幕府の役職に就くため、浜松在住期間は短く、立ち代わりで交代してきたが、浜松城の変改と拡大とともに、浜松の街を今日の姿へと発展させてきたのである。

## 浜松城歴代城主

元禄元年～天正14年(1570～1586)	①徳川家康 引間から浜松という地名に改名
天正18年～慶長4年(1590～1599)	②堀尾吉晴 浜松城に天守閣を建築
慶長4年～慶長5年(1599～1600)	③堀尾忠氏 元魚町の魚商、肴町に移る
慶長6年～慶長14年(1601～1609)	④松平忠頼 家康公により伝馬制が定まる
慶長14年～元和5年(1609～1619)	⑤水野重仲 総作が年貢の対象となる
元和5年～寛永15年(1619～1638)	⑥高力忠房 天竜川氾濫、町づくりが軌道に乗る
寛永15年～正保元年(1638～1644)	⑦松平乗寿(のりなが) 五社・諏訪両名神竣工
正保元年～寛文11年(1644～1671)	⑧太田資宗(すけむね) 馬込橋・土橋を板橋にする
寛文11年～延宝6年(1671～1678)	⑨太田資次
延宝6年～延宝7年(1678～1679)	⑩青山宗俊
延宝7年～貞享2年(1679～1685)	⑪青山忠雄
貞享2年～元禄15年(1685～1702)	⑫青山忠重 元禄期の武家屋敷は54軒
元禄15年～享保8年(1702～1723)	⑬松平資俊(すけとし) 宿内総軒数1386軒 旅籠151軒
享保8年～享保14年(1723～1729)	⑭松平資訓(すけのり)
享保14年～延享元年(1729～1744)	⑮松平信祝(のぶとき) 浜松藩に目安箱を採用する
延享元年～寛延2年(1744～1749)	⑯松平信復(のぶなお)
寛延2年～宝暦2年(1749～1752)	⑰松平資訓
宝暦2年～宝暦8年(1752～1758)	⑱松平資昌
宝暦8年～明和3年(1758～1766)	⑲井上正経
明和3年～天明6年(1766～1786)	⑳井上正定
天明6年～文化14年(1786～1817)	㉑井上正甫 伊能忠敬、遠州海岸を測量する
文化14年～弘化2年(1817～1845)	㉒水野忠邦 節約令を布達
弘化2年(1845)	㉓水野忠精
弘化2年～弘化4年(1845～1847)	㉔井上正春
弘化4年～明治元年(1847～1868)	㉕井上正直 天竜川が決壊、被害甚大

※菅沼定政は家康公が上洛の際、代理で城を管理する「城代」



## 浜松城下町MAP

徳川譜代による中世～近世浜松城時代の浜松城下町・宿場町を想い浮かべながら、浜松城周辺を散策してみよう!